

第2回鶴岡公園環境整備懇談会 鶴岡公園正面広場整備計画について

令和2年12月16日

鶴岡市都市計画課

令和2年度の経過報告

令和2年 7月8日	第1回鶴岡公園環境整備懇談会 ○内堀浄化事業について ○正面広場整備計画について ○桜等樹木の更新計画について ■出席者：鶴岡公園環境整備懇談会委員 14名
令和2年 8月1日	第1回鶴岡公園ワークショップ ○正面広場の利活用における意見徴収 ○外堀周辺道路の整備内容における意見徴収 ■出席者：懇談会委員、町内会、幼稚園団体・保育園団体、高校生、一般 22名
令和2年 10月10日	第2回鶴岡公園ワークショップ ○第1回ワークショップの結果報告 ○正面広場及び外堀周辺道路の実施設計（案）における意見徴収 ■出席者：懇談会委員、町内会、幼稚園団体・保育園団体、高校生 13名
令和2年 12月16日	第2回鶴岡公園環境整備懇談会 ○正面広場整備計画について ○外堀周辺道路整備事業について ○桜等樹木の更新計画について ■出席者：鶴岡公園環境整備懇談会委員



第1回懇談会(7.8)



第1回ワークショップ(8.1)



第2回ワークショップ(10.10)

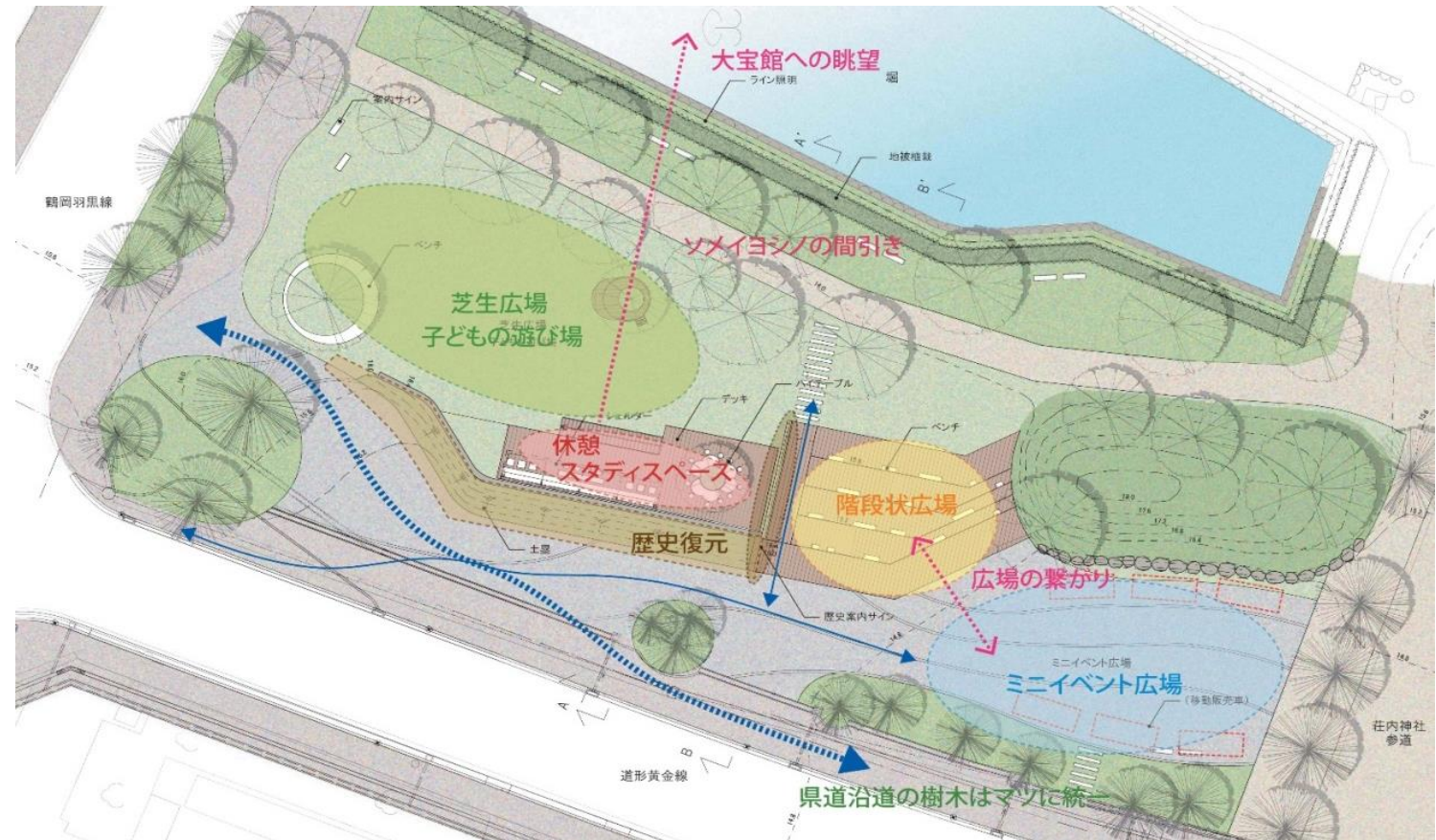
鶴岡公園正面広場基本計画について

■ 整備方針

1. 歴史的痕跡を感じ取れる表現
2. 日常的な「場」となる設え
3. 多様な主体を巻き込んだ「場」づくり
4. イベント等ニーズへの対応



基本イメージ及びゾーニングイメージ



第1回鶴岡公園ワークショップの概要報告

□開催概要

日時: 令和2年8月1日(土) 13:00~16:30

会場: 荘内神社参集殿

参加者数: 22名(懇談会委員10名、文化財1名、幼稚園・保育園団体4名、町内会1名、高校生等5名、一般1名)

目的

『鶴岡公園を見て歩き現状を理解するとともに、**計画イメージを踏まえ、快適で使いやすい公園のあり方をみんなで考える。**』

テーマ

鶴岡公園正面広場の日常の利用やイベントなどの利活用を考えよう。



□主な意見

【歴史サイン】	<ul style="list-style-type: none"> ・土塁や歴史サインは観光イメージが分かるものが良い ・歴史サインは観光客に分かりやすいものが良い
【芝生広場】	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩や散歩で利用する際の手洗い場の設置 ・桜は名所のため現状維持 ・広い空間があれば遊具はいらない ・城がイメージできる遊具の設置
【休憩施設】	<ul style="list-style-type: none"> ・ランチや飲食、休憩のために日陰や屋根があると良い
【階段状広場】	<ul style="list-style-type: none"> ・子供に対して安全な作りにして欲しい
【イベント広場】	<ul style="list-style-type: none"> ・電気、水道、排水設備の設置 ・舗装は日光の照り返しが少ないのが良い ・水はけをよくして欲しい
【その他・全体】	<ul style="list-style-type: none"> ・夜は暗いイメージがあるため、照明を数カ所設置して欲しい ・総合案板の設置 ・白ツツジの活用 ・ふさわしい広場の名称
【金峯石】	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣に使用されていたことが理解できる活用の仕方 ・まとめて配置し、説明版を置き歴史サインの一つとして活用
【高山樗牛像】	<ul style="list-style-type: none"> ・参道に集約する ・大宝館周辺に配置する ・正面広場内にコンパクトに設置する

意見の分類



設計への反映分類



実施設計(案)

第2回鶴岡公園ワークショップの概要報告

□開催概要

日時:令和2年10月10日(土)13:30~15:30

会場:鶴岡市役所 別棟2号館

参加者数:13名(懇談会委員3名、幼稚園保育園団体4名、高校生等6名)

目的

第1回ワークショップで収集した市民の意見を踏まえて作成された**実施設計(案)の確認**を行い、**整備イメージの共有**を図る。

テーマ

実施設計(案)に至った過程と考え方を共有し、整備イメージへの**疑問点や感じたことの意見交換**をしながら、提示された(案)の**評価**をしよう。

□主な意見

実施設計(案)に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 大宝館を眺望できる柵は、鶴岡公園の景観やイメージに合わない お堀が見えるようになるのはよい 歴史案内サインは分かりづらいためもっと工夫が必要 歴史案内サインは素材に留意し圧迫感を出さないで欲しい 遊具を作らないとインパクトがない 正面広場へのアプローチについて、車いすなどのバリアフリーを検討して欲しい
実施設計(案)に対する質問	<ul style="list-style-type: none"> 歴史案内サイン(モニュメント)は何を表しているのか 子供が遊べる遊具などのスペースはないのか 駐車場や参道から正面広場へのアプローチはどのようになるのか 桜は伐採するのか
その他 意見	<ul style="list-style-type: none"> 総合案内看板の整備について 今後の運用問題を市民と共に考えるべき
その他 質問	<ul style="list-style-type: none"> 広場の名称は「正面広場」に決まったのか 鶴岡公園正面広場を整備する目的は何なのか



鶴岡公園正面広場設計コンセプト

1. 歴史の痕跡が感じ取れる広場

- 土塁や石積みを模した擁壁、二ノ丸の断面や形状を説明する看板によって、歴史の痕跡が感じ取れるようにします。
- 金峯石の説明を付した看板を設置して、多くの人に金峯石の価値を知ってもらうようにします。

2. 日常時でもイベント時でも活用しやすい広場

- 日陰のある休憩施設でゆっくりできるようにします。
- イベント時には屋台等が置かれ、賑わいある空間にします。
- 水飲みや照明など、多くの方が利用しやすい設備を配置します。
- 車椅子の利用者でも活用しやすいよう施設に工夫を施します。

3. 自由な発想で広々と利用できる広場

- すべり台やブランコ等の遊具等を設けず、築山や飛び石等によって、子どもたちが自由な発想で遊べる広場にします。
- お花見の際に、シートを敷いてゆったり花見ができるようにします。

4. 観光客にわかりやすい広場

- 正面広場の歴史的な位置づけを知ってもらうための看板等を設置します。
- QRコードの使用など、外国人観光客にもわかりやすい案内板を設置します。

鶴岡公園正面広場整備イメージ①

【芝生広場・休憩施設・階段状広場】

芝生広場

基本計画の考え方を踏まえ、遊具等は設置せず、築山や自然石を配置して、歴史的資源との調和を図り、自由に広々と活用できるようにする。



芝生広場イメージ
(加賀市中央公園)



休憩施設イメージ(W=12.0m)

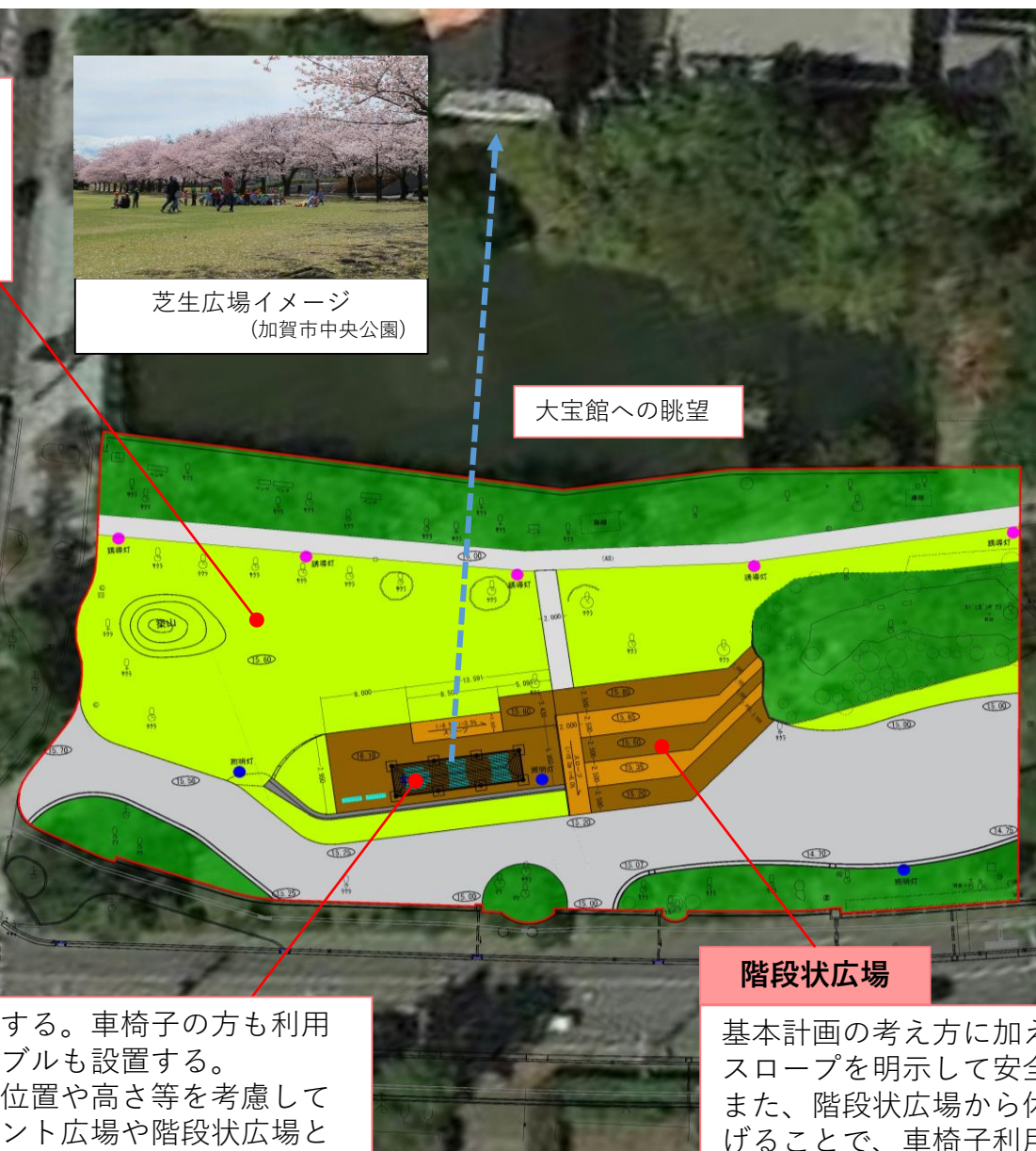


テーブル・ベンチイメージ

休憩施設

東屋にテーブル・ベンチを設置する。車椅子の方も利用できるように、車椅子対応のテーブルも設置する。木を囲うハイテーブルは、桜の位置や高さ等を考慮して設置しない。代わりにミニイベント広場や階段状広場とのつながりをもたせた空間を設ける。

大宝館への眺望



凡例

- デッキ
- 舗装
- 既存のまま
- 芝生
- 照明灯
- 誘導灯
- 東屋
- テーブル・ベンチ

階段状広場

基本計画の考え方に加えて、色分けによって段差やスロープを明示して安全性に配慮する。また、階段状広場から休憩施設までをデッキでつなげることで、車椅子利用の方でも休憩施設に容易にアクセスできるようにした。



階段状広場イメージ
素材：再生木材

鶴岡公園正面広場整備イメージ② 【照明灯・誘導灯・水飲み設備・生垣】



照明イメージ
H=5.0m 3基



誘導灯
イメージ
H=0.9m 5基

お堀沿いの生垣

柵は設置せず、既存の生垣を活用する。



凡例

-  デッキ
-  舗装
-  既存のまま
-  芝生
-  照明灯
-  誘導灯
-  東屋
-  テーブル・ベンチ

照明灯・誘導灯

照明は基準にしたがって、LED照明灯を設置する（3基）。また、堀沿いの園路には誘導灯を設置する（5基）。

水飲み・手洗い

水飲み・手洗い場を設置する。イベント用に使用できるような水栓を設置する。



水飲み・手洗い場
イメージ

歴史案内サイン

※次ページ以降参照

イベント広場

舗装は通常のアスファルトではなく、景観性を重視した舗装にする。キッチンカー等が乗入できるような舗装構成とする。舗装の大部分がお堀であったことから、舗装に水であることを表現を施す。排水勾配を考慮し、水はけをよくする。

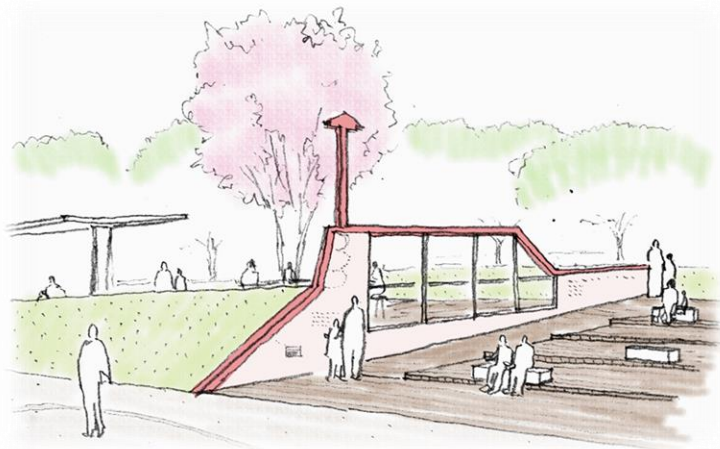


イベント広場イメージ
(中野セントラルパーク)



舗装の水表現イメージ
(長良川公園)

歴史案内サインについて①

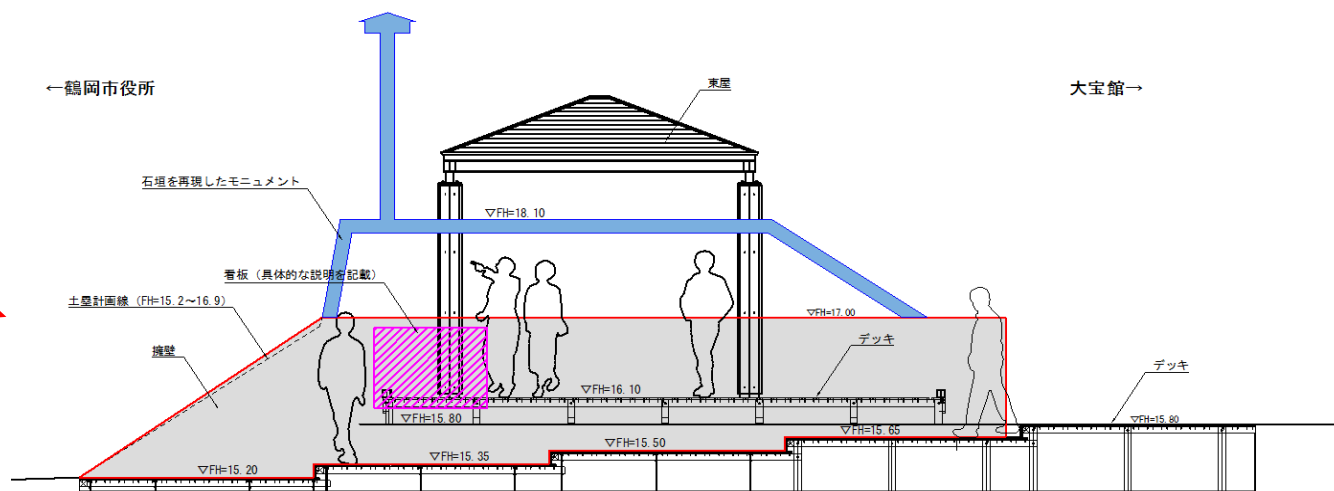


歴史案内サイン（基本計画）イメージ

基本計画では、調査結果をもとに二ノ丸城壁の想定される断面形状を整理。しかし、物理的に石積み等を復元した場合、道路側と広場内の見通しが悪くなることが想定される。
⇒石積みや板塀等は復元せず、規模等が分かるように歴史案内サインで表現。

実施設計段階で、基本計画通りの物を再現しようとした場合、安全性や施工性等で課題があり、実現可能な案として、擁壁に石積みや板塀を模したモニュメントを設置して二ノ丸の断面を再現する。

実現可能な案



歴史案内サイン（実施設計案）イメージ

⇒ワークショップで「何を表しているのかわかりにくい」等の意見をいただく。

安全性や施工性、維持管理について考慮し、別の方法で歴史再現の説明を行う。

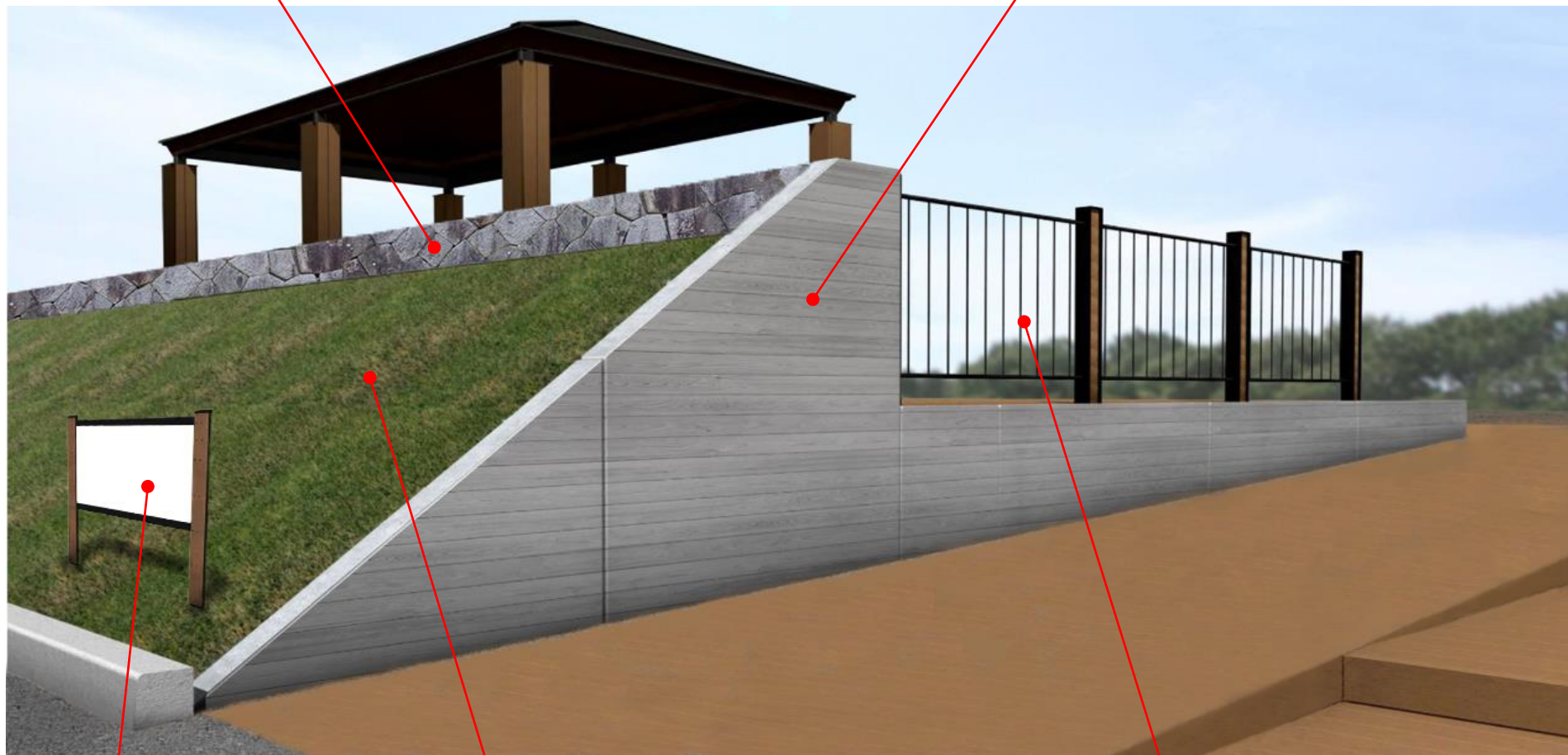
歴史案内サインについて②

歴史再現イメージ

擁壁に石積み風の化粧を施すことで、石積みの「位置」がイメージできるようにする。
※土塁の上端から30cm程度出す。

が歴史再現。

土塁の土を背負うための擁壁
※木調や石材調の化粧を施すことで、擁壁の圧迫感をなくす工夫を施す。



二ノ丸の断面や形状等を説明した案内看板を設置。

土塁の再現

転落防止柵を設置。
⇒階段状広場とイベント広場とのつながりを創出。

金峯石の活用について



適切な大きさと特徴等が分かりやすい金峯石を配置し、近くに石に関する説明を付した看板を設置する。

⇒ 金峯石の価値を理解してもらう。

築山の土留や飛び石に利用する。

⇒ 金峯石に親しみを持ってもらう。

■ 整備イメージ



蛙（びっき）石（山形県）



高山樗牛像について

■高山樗牛像について



・県道拡幅に伴い移設を免れないため、ふさわしい移設先について所管課と協議中。



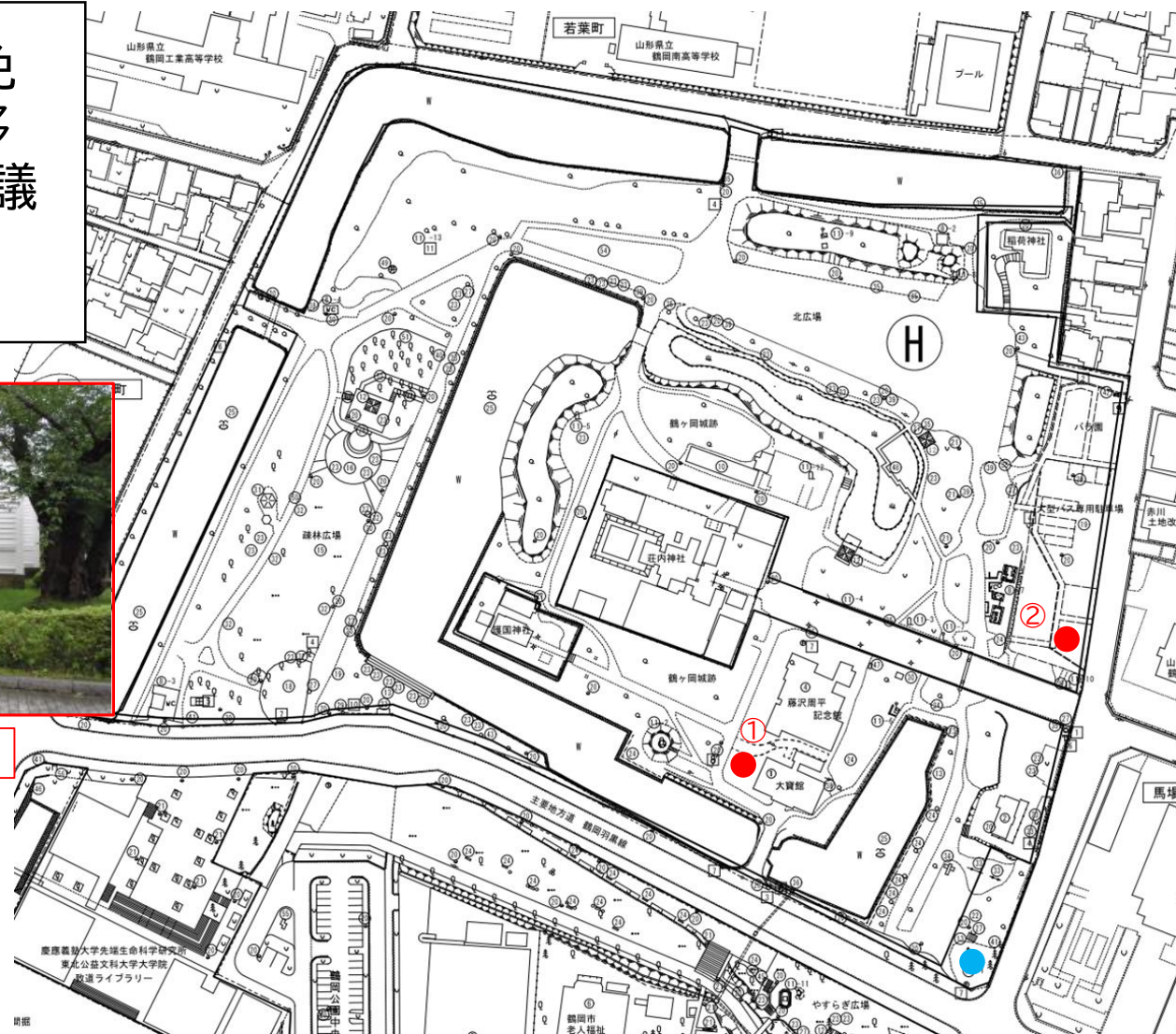
現在位置



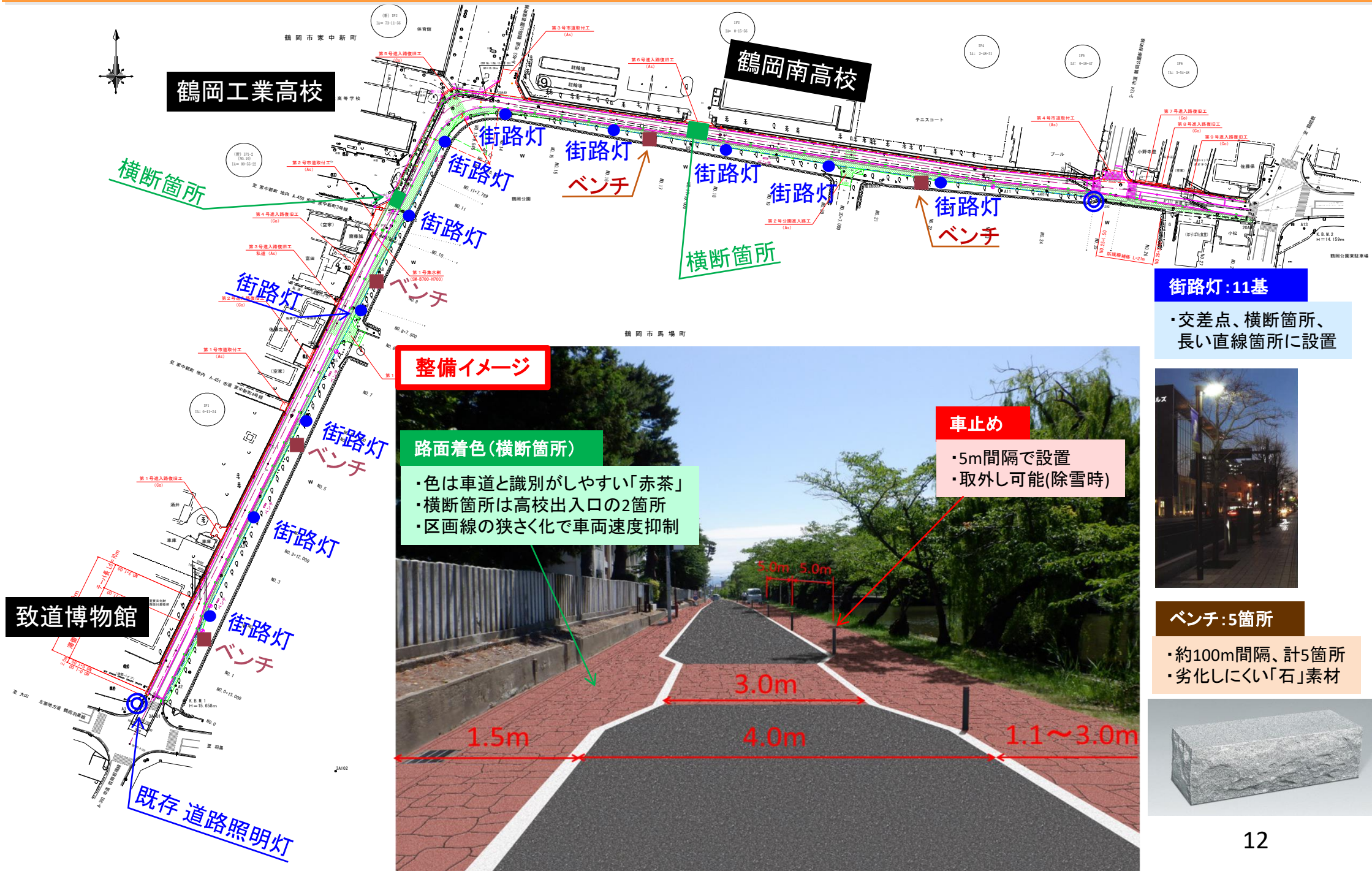
移設候補先① 大宝館脇



移設候補先② 参道北側緑地帯



鶴岡公園外堀周辺道路整備事業 整備イメージ



鶴岡工業高校

鶴岡南高校

致道博物館

既存道路照明灯

整備イメージ

路面着色 (横断箇所)

- ・色は車道と識別がしやすい「赤茶」
- ・横断箇所は高校出入口の2箇所
- ・区画線の狭さく化で車両速度抑制

車止め

- ・5m間隔で設置
- ・取外し可能(除雪時)

街路灯: 11基

- ・交差点、横断箇所、長い直線箇所に設置

ベンチ: 5箇所

- ・約100m間隔、計5箇所
- ・劣化しにくい「石」素材

